《結果の抜粋と掲載ページ》

■ 調査概要		2ページ
■ 【特別企画】30年の水意識を振り返る		
◇ 水道水10点評価の平均点は30年で上昇。近年は高水準で推移…トピック【1】		3ページ
◇ 居住地別の平均点の差異が縮小傾向		3ページ
◇ 水道水の不満は「質」から「料金」へ…トピック【2】		4ページ
◇ そもそも“不満がない”という人が大幅に増加		4ページ
◎ 沖大幹先生による解説～Oki’s View～ ① 水道水の評価		5ページ
◎ 沖大幹先生による解説～Oki’s View～ ② 水道水の不満点		5ページ
◇ 一番おいしいと思う水「湧き水」激減、市販の水や水道水が増加…トピック【3】		6ページ
◇ 節水の取り組み方法は変わっていないが、取り組み率は低下		6ページ
◎ 沖大幹先生による解説～Oki’s View～ ③ 日常生活で実践していること		7ページ
◇ 水辺でしたいことは、癒しを求める傾向がより顕著に？		8ページ
◇ 家の近くの水辺の変化は、「汚くなっている」と思う人が大幅に減少		8ページ
■ 【緊急レポート】水の備えに関する意識変化		
◇ 災害時の水の備えは、何もしていない人が4割に迫る勢い		9ページ
◇ 2019年をピークに水の備えが減少傾向		9ページ
■ 水への関心		
◇ “関心あり層”は、60.4%		
若者における関心度の二極化は昨年同様		10ページ
◇ 水を“大切だと思っている人”は、87.6%		10ページ
◇ 水に“ありがたさを感じている人”は、83.3%		11ページ
■ 節水の意識と行動		
◇ 節水の意識と行動、ともにやや低下 20代・30代の節水実施率の落ち込みが目立つ		12ページ
◇ 水に関心がない人の過半数が節水を実施		12ページ
◇ 水に関心がない人の節水理由は、家計のため？		12ページ
■ 水道水に関する意識		
◇ 水道水の評価、全体の平均点7.34点 エリア別トップは大阪圏7.52点		13ページ
◇ 大阪圏では4人に1人が10点満点の評価		13ページ
■ 水と生活・文化		
◇ 知っている祝日・記念日は「水の日」認知率が7.6%で過去最高を更新		14ページ
◇ みずみずしいと感じる有名人1位「綾瀬はるか」、大谷翔平が男性トップの3位		14ページ

【調査概要】

第30回（令和六年度）「水にかかわる生活意識調査」

- ◆ 調査対象数 : 1,500人
- ◆ 調査対象者 : 東京圏(東京、神奈川、埼玉、千葉)、大阪圏(大阪、兵庫、京都)、中京圏(愛知、三重、岐阜)に居住する20代～60代の男女
- ◆ 調査方法 : インターネット調査
- ◆ 調査期間 : 2024年5月28日(火)～6月3日(月)
- ◆ 回収数(人) :

	東京圏		大阪圏		中京圏		合計		小計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
20代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
30代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
40代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
50代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
60代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
合計	250	250	250	250	250	250	750	750	1,500
	500		500		500				